

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 遺伝的要因が関与する可能性のある家族性及び若年発症胃がんに対する遺伝学的解析研究
	●研究の対象 当院で胃がんまたは乳がん（主に小葉乳がん）と診断され、遺伝的要因が疑われ、本研究への参加について同意されている方およびその血縁者の方のうち、1985年4月～2026年3月までの期間に手術を受け、通常診療の過程で作製・保存された病理組織検体等および付随する既存診療情報が保存されている方
	●研究の目的 遺伝性びまん性胃がん（HDGC）は、特定の遺伝子の変化が関係して発症すると考えられており、胃がんや乳がん（特に小葉乳がん）を発症することがあります。しかし、日本人における遺伝的特徴や臨床像については、まだ十分に明らかになっていません。この研究では、参加施設で診療を受けられた遺伝的要因が関与すると考えられる胃がんや乳がんの患者さんの診療情報や遺伝子解析の結果を用いて、これらのがんに関連する遺伝子の特徴と、がんの発症との関係を明らかにすることを目的とします。これにより、将来の診断や遺伝カウンセリングの充実につながることを期待されます。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2031年3月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究で取得する試料・情報は、代表機関である浜松医科大学で管理・解析を行います。他の共同研究機関や外部の検査機関には、試料や情報を提供しません。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、診断名、家族歴、発症年齢、病理診断結果（組織型等）等 試料：通常診療の過程で作製・保存されている病理組織検体（FFPE 病理組織ブロック）等</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 新村和也 共同研究機関：広島大学病院 檜井孝夫 ※その他国内共同研究機関も参加予定</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《情報の開示》	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
《問い合わせ先》	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 腫瘍病理学講座</p> <p>担当者： 新村和也</p> <p>TEL： 053-435-2220</p> <p>E-mail： kzshinmu@hama-med.ac.jp</p>